

スーパー ボンド ベア オープン 3

運用報告書(全体版)

第12期 (決算日2017年7月28日)

作成対象期間 (2016年7月29日～2017年7月28日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／債券／特殊型（ブル・ベア型） |
| 信託期間 | 2005年7月29日から2019年7月29日までです。 |
| 運用方針 | 国債証券先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがわが国の長期債市場全体の日々の値動きの概ね4倍程度反対となることを目指して運用を行います。 運用にあたっては、わが国の短期公社債等の短期有価証券を中心に、コールローン等にも投資するとともに、国債証券先物取引の売り建てを行います。 国債証券先物取引の売り建ての額は、原則として信託財産の純資産総額のほぼ4倍程度となるように調整を行います。 |
| 主な投資対象 | 円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、国債証券先物取引を主要取引対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資は転換社債の転換等に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の30%以内とします。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として利子・配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 |

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 (分配落) | 価 額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 債 先 物 比 | 券 率 | 純 資 産 額 |
|-----------------|-------------|--------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|------------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 金 | | | | | |
| | 円 | | 円 | | | % | | % | 百万円 |
| 8期(2013年7月29日) | 5,288 | | 0 | | △ 3.5 | 66.2 | △404.4 | △399.7 | 10,263 |
| 9期(2014年7月28日) | 4,604 | | 0 | | △12.9 | 74.9 | △399.7 | △400.3 | 7,486 |
| 10期(2015年7月28日) | 4,207 | | 0 | | △ 8.6 | 75.1 | △401.2 | △400.3 | 5,676 |
| 11期(2016年7月28日) | 3,445 | | 0 | | △18.1 | — | △401.2 | △399.8 | 3,411 |
| 12期(2017年7月28日) | 3,696 | | 0 | | 7.3 | — | △399.8 | | 3,343 |

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは、日々の基準価額の値動きが長期債市場全体の日々の値動きの概ね4倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 | 券 率 | 債 先 物 比 | 券 率 |
|------------|-------|-----|------|------------------|--------|------------------|--------|
| | | 騰 | 落 | | | | |
| (期 首) | 円 | | | | % | | % |
| 2016年7月28日 | 3,445 | | | — | — | △401.2 | |
| 7月末 | 3,553 | | 3.1 | — | — | △398.8 | |
| 8月末 | 3,660 | | 6.2 | — | — | △399.1 | |
| 9月末 | 3,592 | | 4.3 | — | — | △400.5 | |
| 10月末 | 3,650 | | 6.0 | — | — | △402.0 | |
| 11月末 | 3,759 | | 9.1 | — | — | △398.6 | |
| 12月末 | 3,760 | | 9.1 | — | — | △398.9 | |
| 2017年1月末 | 3,793 | | 10.1 | — | — | △400.8 | |
| 2月末 | 3,721 | | 8.0 | — | — | △398.8 | |
| 3月末 | 3,704 | | 7.5 | — | — | △401.2 | |
| 4月末 | 3,630 | | 5.4 | — | — | △400.2 | |
| 5月末 | 3,662 | | 6.3 | — | — | △401.7 | |
| 6月末 | 3,706 | | 7.6 | — | — | △397.8 | |
| (期 末) | | | | | | | |
| 2017年7月28日 | 3,696 | | 7.3 | — | — | △399.8 | |

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 3,445円

期 末： 3,696円 (既払分配金(税込み)： 0円)

騰落率： 7.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年7月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

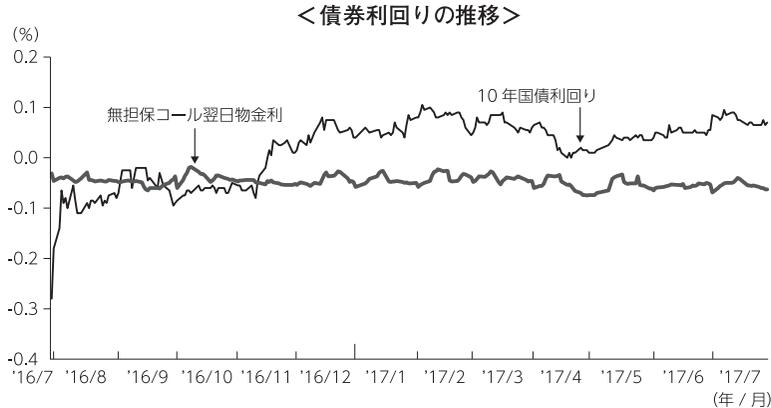
○基準価額の変動要因

基準価額は、期首3,445円から期末3,696円に251円の値上がりとなりました。

当運用期間では、国内債券利回りが上昇(価格は下落)したことから、基準価額は上昇しました。

○投資環境

当作成期首から当作成期末にかけては、日銀による長短金利を誘導目標とした金融政策の導入や、米国の大統領選挙の結果を受けた円安進行に伴い、国内株式が上昇したことなどから、国内債券市場は軟調となり国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。



※債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを示し、逆の場合は下落したことを示します。

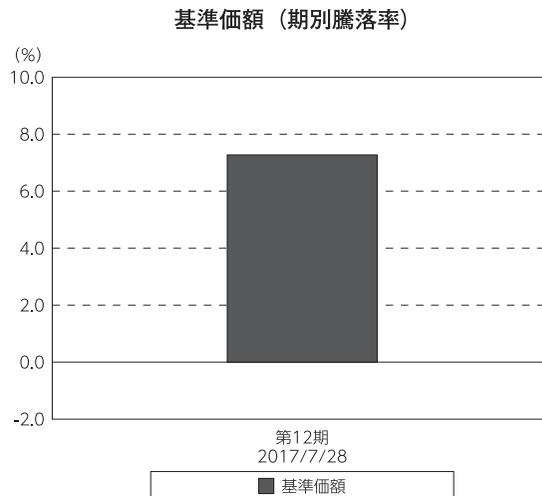
○当ファンドのポートフォリオ

国内の短期公社債やコール・ローンなどで運用すると共に、債券先物取引の売り建てを行ってまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが長期債市場全体の日々の値動きの概ね4倍程度反対となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

経費控除後の配当等収益や基準価額水準を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり・税込み)

| 項目 | 第12期 |
|--------------------|---------------------------|
| | 2016年7月29日～ 2017年7月28日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | — —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 225 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

わが国の長期債市場全体の日々の値動きの概ね4倍程度反対の投資成果を得られるよう運用を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年7月29日～2017年7月28日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|-----------------------------------|---|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 円 21 (8) (11) (1) | % 0.562 (0.227) (0.297) (0.038) | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 1 (1) | 0.025 (0.025) | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) | 0 (0) | 0.002 (0.002) | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 22 | 0.589 | |
| 期中の平均基準価額は、3,682円です。 | | | |

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○派生商品の取引状況等

(2016年7月29日～2017年7月28日)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

| 銘 柄 別 | | | 買 建 | | 売 建 | | 当 期 末 評 価 額 | | |
|-------|--------|----------|-------|-------|--------|--------|-------------|--------|---------|
| | | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 | 買 建 額 | 売 建 額 | 評 価 損 益 |
| 国 | | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 内 | 債券先物取引 | 10年国債標準物 | — | — | 60,858 | 60,905 | — | 13,366 | 38 |

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月29日～2017年7月28日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ % | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ % |
|--------|---------------|---------------------|--------------------|---------------|---------------------|--------------------|
| | | | | | | |
| 債券先物取引 | 百万円 60,905 | 百万円 60,905 | 100.0 | 百万円 60,858 | 百万円 60,858 | 100.0 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|--------|
| 売買委託手数料総額 (A) | 872千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 872千円 |
| (B) / (A) | 100.0% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2017年7月28日現在)

先物取引の銘柄別期末残高

| 銘 柄 別 | 当 期 末 | |
|--------------------------|----------|---------------|
| | 買 建 額 | 売 建 額 |
| 国内 債券先物取引 10年国債標準物 | 百万円 - | 百万円 13,366 |

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年7月28日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 3,352,685 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 3,352,685 | 100.0 |

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年7月28日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 3,352,423,093 |
| コール・ローン等 | 3,300,009,213 |
| 未収入金 | 38,513,880 |
| 差入委託証拠金 | 13,900,000 |
| (B) 負債 | 9,379,231 |
| 未払解約金 | 7,388 |
| 未払信託報酬 | 9,330,465 |
| 未払利息 | 5,550 |
| その他未払費用 | 35,828 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 3,343,043,862 |
| 元本 | 9,045,070,000 |
| 次期繰越損益金 | △5,702,026,138 |
| (D) 受益権総口数 | 9,045,070,000口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 3,696円 |

(注) 期首元本額は9,903,880,000円、期中追加設定元本額は753,530,000円、期中一部解約元本額は1,612,340,000円、1口当たり純資産額は0.3696円です。

○損益の状況 (2016年7月29日～2017年7月28日)

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------|------------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 2,257,201 |
| 支払利息 | △ 2,257,201 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 750 |
| 売買益 | △ 771 |
| 売買損 | 21 |
| (C) 先物取引等取引損益 | 228,785,621 |
| 取引益 | 335,619,898 |
| 取引損 | △ 106,834,277 |
| (D) 信託報酬等 | △ 19,618,895 |
| (E) 当期損益金(A+B+C+D) | 206,908,775 |
| (F) 前期繰越損益金 | △1,337,671,271 |
| (G) 追加信託差損益金 | △4,571,263,642 |
| (配当等相当額) | (203,149,943) |
| (売買損益相当額) | (△4,774,413,585) |
| (H) 計(E+F+G) | △5,702,026,138 |
| (I) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(H+I) | △5,702,026,138 |
| 追加信託差損益金 | △4,571,263,642 |
| (配当等相当額) | (203,149,943) |
| (売買損益相当額) | (△4,774,413,585) |
| 分配準備積立金 | 875,952 |
| 繰越損益金 | △1,131,638,448 |

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年7月29日～2017年7月28日)は以下の通りです。

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------------|---------------------------|
| | 2016年7月29日～ 2017年7月28日 |
| a. 配当等収益(経費控除後) | 0円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 0円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 203,149,943円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 875,952円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 204,025,895円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 225円 |
| g. 分配金 | 0円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 0円 |

○分配金のお知らせ

| | |
|------------------|----|
| 1 万口当たり分配金 (税込み) | 0円 |
|------------------|----|

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合
分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合
分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>